

「鹿児島黒牛」を支える種雄牛「梅華福」及び「光金豊」の造成

各種検定及びDNA解析等の実施により、遺伝能力の優れた「梅華福」号、「光金豊」号を造成

背景・目的

- ・本県肉用牛の産肉能力の向上，銘柄確立及び肉用牛経営の安定が必要
- ・各種検定及び遺伝子(DNA)解析等の実施により，遺伝能力の優れた種雄牛を造成・選抜

成果の内容

- ・遺伝的能力に優れ，産子の枝肉成績も良好

「梅華福」号



【血統】 華春福－忠茂勝－神徳福

【間接後代検定成績】

- ・枝肉重量 507.7kg
- ・ロース芯面積 68cm²
- ・脂肪交雑 BMS No.8.4

【特徴】

- ・体伸，前軀，後軀，体幅に優れる
- ・但馬系母体，金水9系母体への交配推奨

「光金豊」号



【血統】 金吉幸－百合茂－金幸

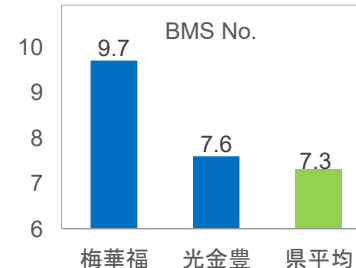
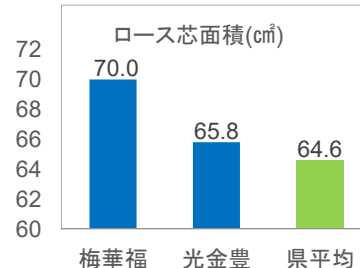
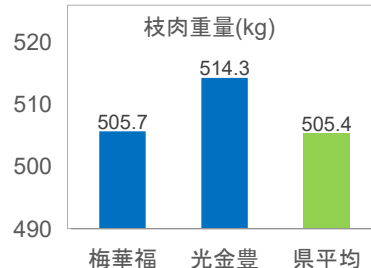
【間接後代検定成績】

- ・枝肉重量 477.8kg
- ・ロース芯面積 66cm²
- ・脂肪交雑 BMS No.8.6(本県歴代1位)

【特徴】

- ・体積，体伸，体幅，中軀，後軀に優れる
- ・但馬系母体，気高系母体への交配推奨

現場後代検定牛の
枝肉成績



期待される効果

- ・今後の「鹿児島黒牛」を支える種雄牛
- ・本県肉用牛の銘柄確立
- ・肉用牛農家の経営安定と所得向上

○普及対象・範囲
県内全域の肉用牛飼養者

肉用牛改良研究所
育種改良研究室